

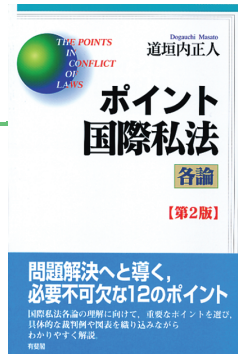


ポイント国際私法 各論

〔第2版〕

道垣内正人

2014年2月刊/328頁/本体2400円+税
四六判/並製



編集
担当者
から

初版刊行から13年。この間、「法例」が全部改正され、「法の適用に関する通則法」が施行されました。改正は本書が対象とする事項に広く及び、書き下ろしに近い作業が多数なされています。

著者の道垣内先生は本書について「講義や教科書では時間や紙幅の関係上十分に説明されていないけれども、全体の見通しをよくするには不可欠の重要なポイントを選び、できるだけ具体的な裁判例や図表を織り込みながら論ずる」とコメントされています。

本書は本誌・法学教室の連載をベースにしており、まさに、皆さんに向けたメッセージです。是非とも、姉妹書『ポイント国際私法 総論〔第2版〕』(2007年)とセットでお読みいただければと思います。

なお、「道垣内先生ってどんな先生だろう?」と思われる方は、ジュリスト1446号巻頭グラビア「TOP RUNNER・スポーツの発展にスポーツの仲裁が果たす役割とは」をご覧ください。こちらにも熱いメッセージが満載です。(亀)

Index



図表や判例解説、コラムも織り込みながら、皆さんを国際私法の理解に導きます。

ポイント13 国際私法各論の構造

— 私法上の問題のすべてを整理し配列する

ポイント14 実体と手続, 成功と効力, 実質的成立要件と方式

— 各論を解きほぐすキーワード

ポイント15 婚姻

— 配分的適用における送致範囲

ポイント16 親子関係

— セーフガード条項

ポイント17 相続

— 相続財産に係る問題の扱い

ポイント18 取引の安全

— 抵触法的配慮と実質法的配慮

ポイント19 自然人

— 非サヴィニー型の通則法5条・6条

ポイント20 法人

— 外国製透明ロボットの法人格

ポイント21 契約

— 当事者自治をめぐる

ポイント22 不法行為

— 不法行為の数の数え方

ポイント23 債務譲渡の第三者に対する効力

— 通則法23条は必要な規定なのか

ポイント24 物権

— 通則法13条の奥深さ

* ポイント12までは『ポイント国際私法 総論〔第2版〕』に収録されています。